

26.12.03

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

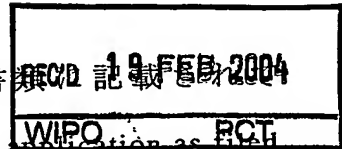
別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application: 2002年12月27日

出 願 番 号  
Application Number: 特願2002-382244  
[ST. 10/C]: [JP2002-382244]

出 願 人  
Applicant(s): エヌエスプランニング株式会社

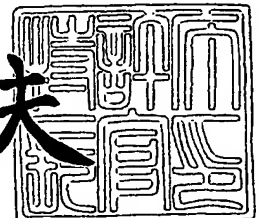


**PRIORITY  
DOCUMENT**  
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2004年 2月 5日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 SPP0205

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 F16B 2/20

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都豊島区南大塚 2 - 2 6 - 7 エヌエスプランニング株式会社内

    【氏名】 吉田 司

【特許出願人】

    【識別番号】 598167800

    【氏名又は名称】 エヌエスプランニング株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100075742

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 鈴木 一元

【選任した代理人】

    【識別番号】 100088122

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 鈴木 洋子

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 069281

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

    【包括委任状番号】 0007323

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 クリップ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 一本の弾性を有する鋼線を折曲して幅広棒状に形成し、一側部を基部とし、多側部を挟持部となしてクリップ本体を形成し、該クリップ本体の前記挟持部を表出せしめて袋体に封入し、袋体には共に香料を含浸せしめたシートを封入してなるクリップ。

【請求鋼 2】 クリップ本体は、一側方向を U 字状に形成し、基部となし、基部の左、右側線部を直線状に形成して先端部を夫々内側方向に折り返し、幅宝庫鋼の中央部に鋼線を左右二本当設した状態で上方向の直線状の中央線となって配設してあり、さらに前記左、右側線部における長さ方向中間部を再度外側方向にして挟持部を設けてなるクリップ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、紙など薄手のものを挟持するために使用するクリップに関するものである。

【0002】

【発明が解決しようとする課題】

従来、紙などを挟持するためのクリップとしては、いわゆる「ゼム クリップ」と称される、針金を細長楕円状に形成したものがごく一般的に使用されている。しかしなあら、上記従来のゼムクリップは小型で扱い易いという利点はあるが、とくに幅寸法が狭く全体的に細長状に形成してあるために、使用時に回転して、ずれてしまい、確実に挟持できない場合があった。

【0003】。

この発明は前記難点を解消するために開発されたもので、より確実に挟持できるクリップを提供することを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するためにこの発明は、一本の弾性を有する鋼線を折曲して幅広棒状にし、一側部を基部、他側部を挟持部となしてクリップ本体を形成し、該クリップの挟持部を表出して袋体に封入し、香料を含浸したシートを袋体に共に封入したものである。

#### 【0005】

##### 【発明の実施の形態】

以下、図示した実施の形態例に基いて説明する。図において、符号1はこの発明のクリップを示すものである。クリップ1は弾性を有する1本の鋼線2を折曲し幅広棒状に形成したものである。

#### 【0006】

すなわち、図1は第1実施例のクリップ本体1を示したものであり、この実施例においては一側方向3をU字棒状に形成し基部4となし、基部4の左、右側線部5, 6を直線状に形成して先端部を夫々内側方向にコ字状に形成し、幅方向の中央部に鋼線2を左右2本当設した状態で上方向の直線状の中央線7, 8となつて配設してあり、さらに前記左、右側線部5, 6における長さ方向中間部において、再度鋼外側方向をコ字状に折曲し、鋼線2の左、右端部9, 10を前記左、右側線部に当設した状態で挟持部11を設けた状態で形成してなるものであり、左右対称に一本の鋼線2を同一平面状に折曲し、幅広状に形成してなるものである。

#### 【0007】

図2、図3はクリップをセットするための袋体12を示すものである。袋体12はその中央に仕切り13を設け、この仕切り13によって区画された裏側区画部12a内にはクリップ1を、その挟持部11を裏面に表出するようになして取付けてある。表側区画12b内には香料を含浸させたカード14などを挿入してある。

#### 【0008】

図11乃至図16はそれぞれ異なる態様の実施例のクリップを示すものである。

#### 【0009】

図11は第2実施例のクリップ15を示すものであり、前記各折曲部分を半円棒

状に形成したものである。

#### 【0010】

図12は第3実施例のクリップ16を示すものである。この第3実施例では上、下端の折曲部分は半円棒状に形成してあるが、中間の折曲部は一側を垂直に、他側を略四半円棒状に形成した、あたかも、刀の切先状のような態様に形成したものである。そして、図13には第3実施例が示されており、この第3実施例は前記第2実施例の鋼線2の左、右端部を夫々正円状に折曲した態様からなっている。

#### 【0011】

図14乃至16は第5実施例のクリップ16を示すものである、この実施例は前記第4実施例の中央部に正方形棒状のカード取付け部17を付加したものであり、図に示すようにスーツ等の正面にクリップ部分17を装着し、前記カード取付け部17に名札カード18を吊り下げることできる。

#### 【0012】

【発明の効果】以上、本願の発明のクリップは幅寸が大きいので、傾くことなく確実に係止することができる。しかも、広く分散した多くの折曲部において挟持部が形成されているので、挟持力が分散されているため、挟持されたシートなどのクリップからの引き抜きもスムーズに行うことができる

#### 【図面の簡単な説明】

##### 【図1】

第1実施例のクリップの本体部分を示す正面図である。

##### 【図2】

第1実施例のクリップを示す正面図である。

##### 【図3】

第1実施例のクリップの拡大縦断面図である。

##### 【図4】

第1実施例のクリップの他の態様を示す正面図である。

##### 【図5】

第1実施例のクリップの他の態様を示す正面図である。

## 【図 6】

第 1 実施例のクリップの他の態様を示す正面図である。

## 【図 7】

第 1 実施例のクリップの使用状態を示す斜視図である。

## 【図 8】

第 1 実施例のクリップの使用状態を示す斜視図である。

## 【図 9】

第 1 実施例のクリップの使用状態を示す斜視図である。

## 【図 1 0】

第 1 実施例のクリップの使用状態を示す正面図である。

## 【図 1 1】

第 2 実施のクリップの本体部分を示す正面図である。

## 【図 1 2】

第 3 実施例のクリップの本体部分を示す正面図である。

## 【図 1 3】

第 4 実施例のクリップの本体部分を示す正面図である。

## 【図 1 4】

第 5 実施例のクリップの本体部分を示す正面図である。

## 【図 1 5】

第 5 実施例のクリップの使用状態を示す正面図である。

## 【図 1 6】

第 5 実施例のクリップの使用状態を示す正面図である。

## 【図 1 7】

第 5 実施例のクリップの使用状態を示す正面図である。

## 【符号の説明】

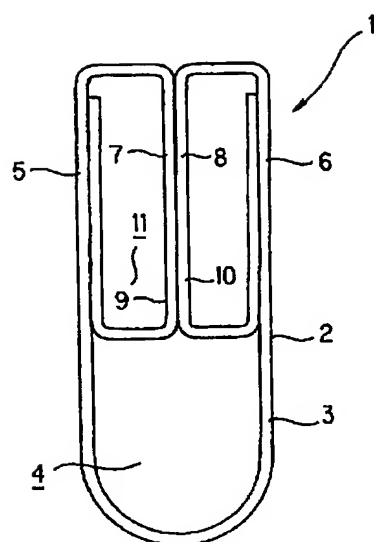
- 1      クリップ
- 2      鋼線
- 3      一側方向
- 4      基部

- 5 左側縁部
- 6 右側縁部
- 7 中央線
- 8 中央線
- 9 左側端部
- 1 0 右側端部
- 1 1 挟持部
- 1 2 袋体
- 1 3 仕切り

【書類名】

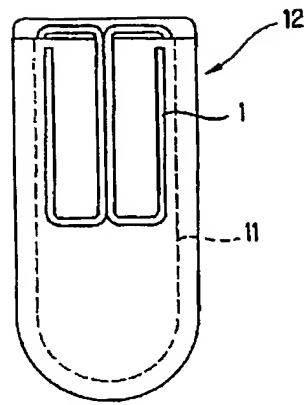
図面

【図 1】

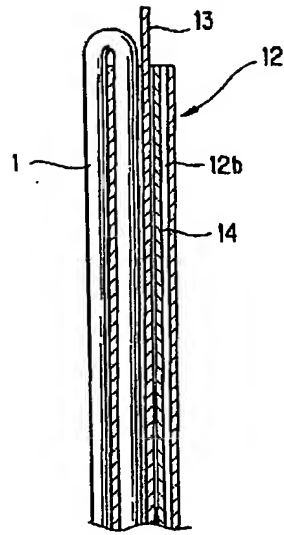




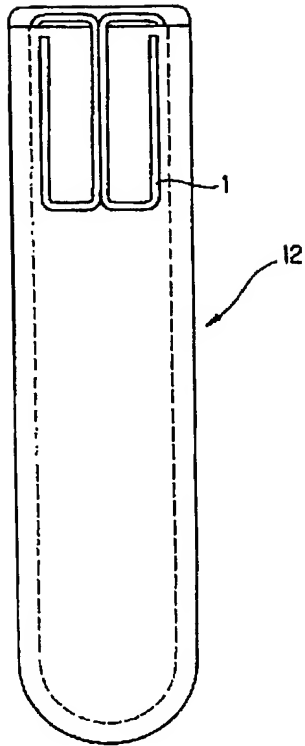
【図 2】



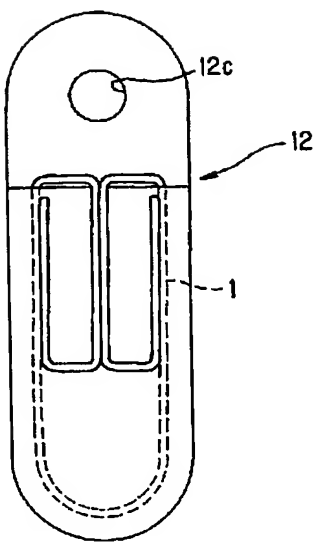
【図 3】



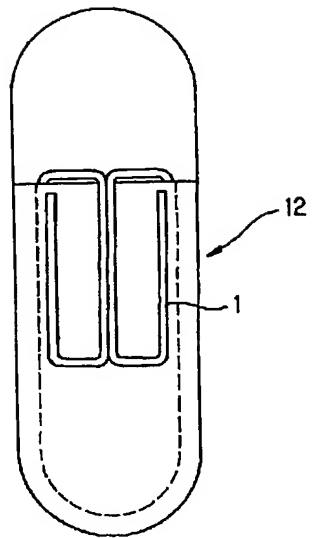
【図 4】



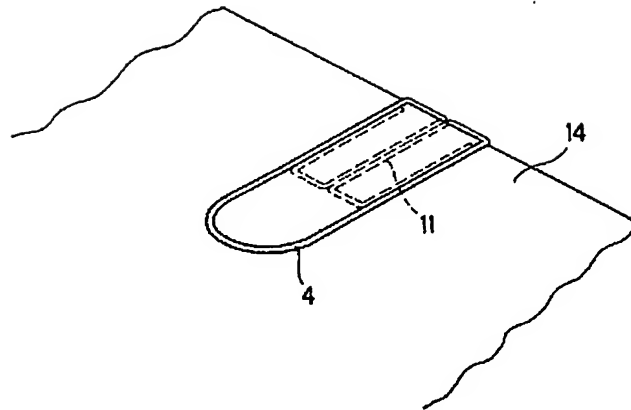
【図 5】



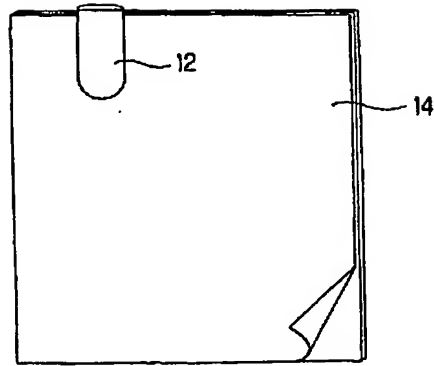
【図 6】



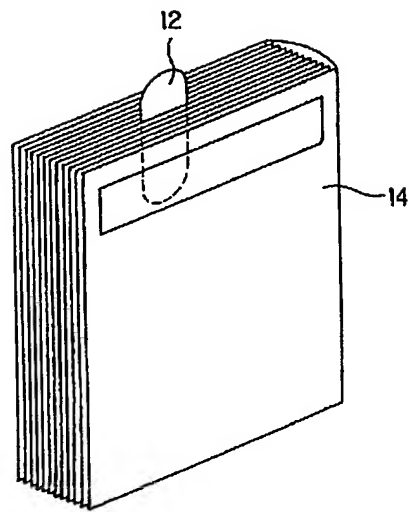
【図 7】



【図 8】

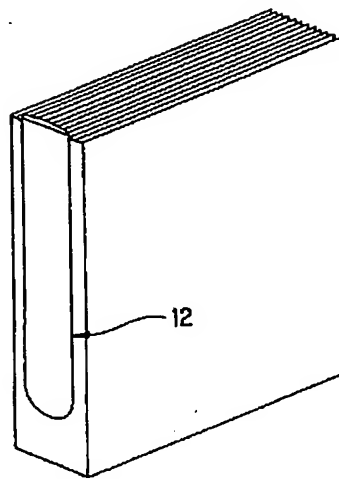


【図 9】

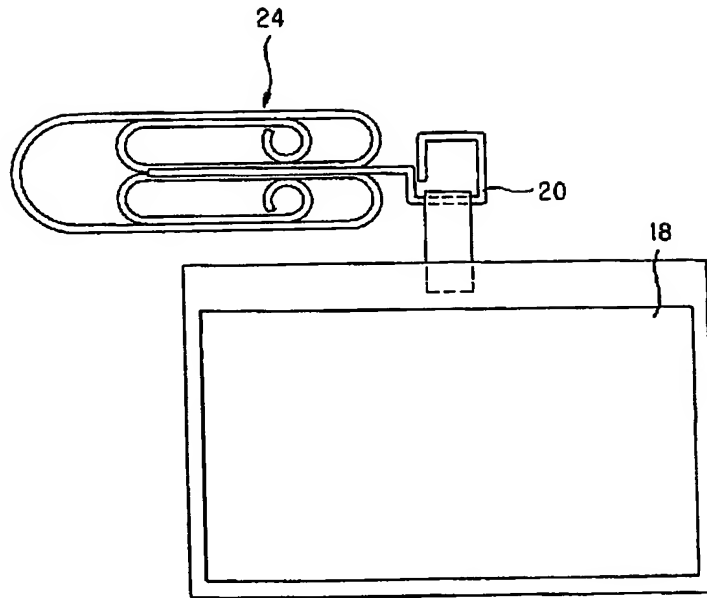




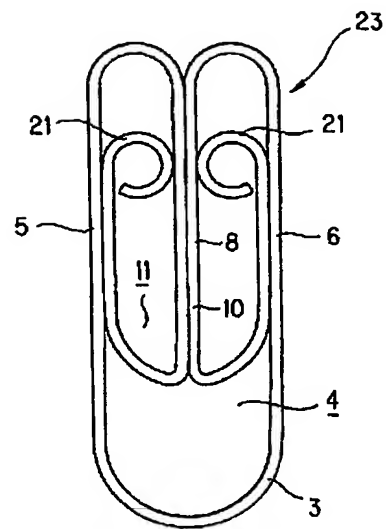
【図 10】



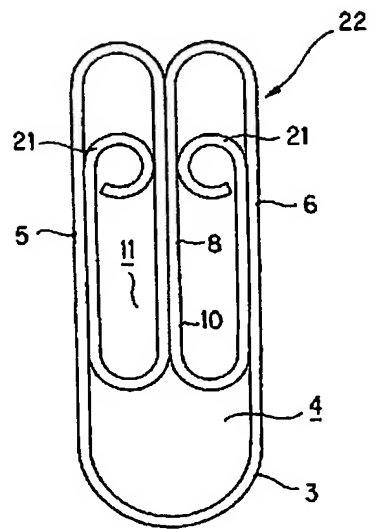
【図 11】



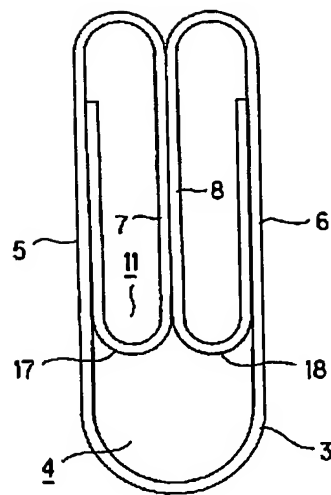
【図 12】



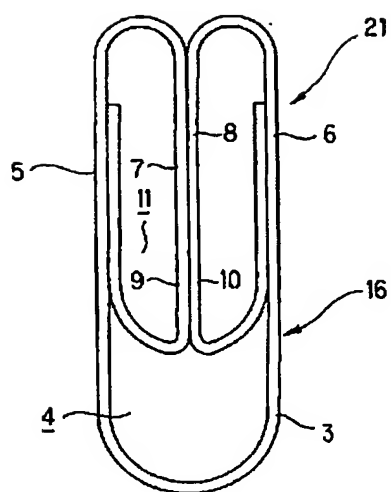
【図 13】



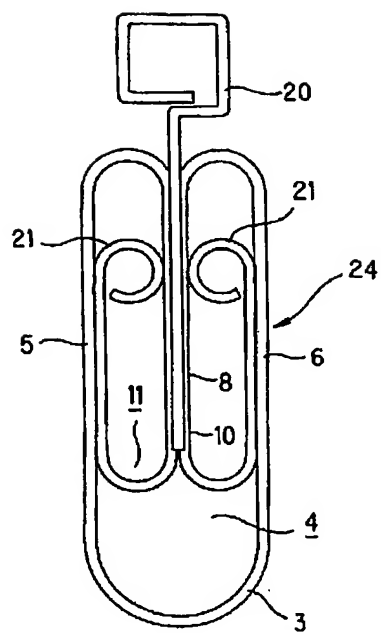
【図 14】



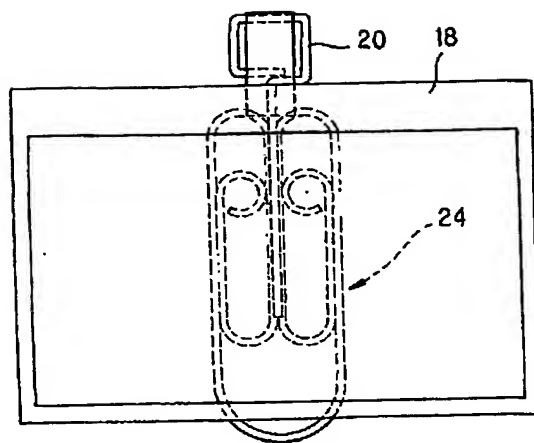
【図15】



【図 16】



【図 17】





【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 確実に紙など薄手のものを挟持し得るクリップを提供することを目的としている。

【解決手段】 弾性を有する鋼線を幅広棒状に折曲してクリップ本体を形成したものと、該クリップ本体を、その挟持部を表出せしめて袋体に封入し、袋体内には香料を含浸させてなるものである。

【選択図】 図 2

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 2 - 3 8 2 2 4 4
受付番号	5 0 2 0 1 9 9 2 4 9 8
書類名	特許願
担当官	第三担当上席 0 0 9 2
作成日	平成 1 5 年 1 月 6 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】 平成14年12月27日

次頁無

出願 2002-382244

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[598167800]

1. 変更年月日

1998年11月19日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都豊島区南大塚2-26-7

氏 名

エヌエスプランニング株式会社